

【教育目標】「多様な主体性を育み、自己実現できる子ども」

めざす子ども像

【学力】

主体性をもち「遊び・生活活動」を進めていく子ども

目 標

- ・一人ひとりが主体性をもち自ら考え行動する力の育成をする。
- ・自ら遊びを選んだり、知的好奇心をもって意欲的に取り組んだりする。

【具体的な取り組み】

- ①友達や先生と夢中になって遊べるように環境の構成を工夫します。
- ②野菜栽培や小動物の飼育、収穫した野菜の調理や食事会、季節探しの散歩など、心揺さぶられる直接体験ができるよう取り組み、豊かな感性を培いながら知的好奇心や探求心を育てます。

【数値目標】

- 「園生活が楽しいと感じのびのびと過ごしている」90%以上
- 「自分の遊びを見つけたり、友だちとともに活動を進めたりしている」90%以上
- 「栽培活動、散歩などの体験活動を通し、喜んで参加したり楽しさを感じたりしている」90%以上

家庭・地域・保育所(園)・小学校・中学校との連携

家庭訪問や懇談会、通信やマチコミなどで、子どもたちの様子や連絡などをきめ細かく伝えます。地域にも幼稚園だよりやホームページなどで情報発信と共有に努めます。 80%以上

【人権】

対話を通して学びを深め豊かな心をもつ子ども

目 標

- ・生命の大切さに気づき、自分の気持ちを表現したり、相手の気持ちを思いやったりする力を育てる。
- ・自立と協同の態度や道徳性の芽生えを培う。

【具体的な取り組み】

- ①様々な人との関わりや多様な経験を通して、自分の気持ちを表現したり相手の気持ちを思いやったりできるようにかかわります。
- ②絵本、ペープサート、気持ちカードなどを使い、相手の気持ちにふれる経験を積み、人の気持ちや思いに気づける豊かな感性を身につけます。

【数値目標】

- 「一緒に遊んだり話したりする友達や先生がいる」75%以上
- 「自分のことが好きだと思う」75%以上
- 「絵本を見ることが楽しい」と思う75%以上
- 「少しでも人の気持ちに気づくようになっている」65%以上

教職員が自己発揮できる働きやすい職場づくり

教職員が心身ともに健康で働き、笑顔で子どもたちと向きあえるように勤務時間の縮減に取り組み、一人一人の話を傾聴して悩みを一緒に解決して支援します。 80%以上

【キャリア】

自分の目標をもち自己実現する子ども

目 標

- ・日々の生活や運動を通し、基本的な生活習慣の確立をする。
- ・遊びや活動の中で自分の目標をもち自己実現できる幼児を育てる。

【具体的な取り組み】

- ①思わず体を動かしたくなるような環境をつくり、毎日の運動を充実させます。
- ②一人一人の幼児の成功体験ができるよう教師がかかわり意欲・自信をもてるようにします。
- ③社会的自立に必要な能力や態度を養う当番活動・係活動・グループ活動、異年齢活動の充実を図ります。

【数値目標】

- 「体を動かすことが好きだと感じている」75%以上
- 「自分から挨拶をするようになっている」75%以上
- 「いろいろなことに興味・関心をもちはじめている」75%以上